

連邦各省庁、「科学の健全性」政策を公表（4月6日）

大統領府科学技術政策局（White House Office of Science and Technology Policy : OSTP）は4月6日、連邦助成を受けて実施される科学技術研究の透明性と公開性を最大限に高めるというオバマ政権の方針に基づき、「科学の健全性」政策の策定に取り組んできた各省庁・機関の大半が、3月30日までに同政策の公表に至ったと発表した。

2011年12月の時点では、全省庁および科学技術をミッションとする政府系機関が、同政策の策定を終了したか、もしくは間もなく終了する段階にあったものの、大半の組織が政策を公表していなかった。

そのため2012年2月、ジョン・ホルドレン（John P. Holdren）科学技術担当大統領補佐官兼 OSTP 長官は各省庁に対し、たとえ最終草案段階であっても3月30日を期限として科学の健全性政策を一般公開するよう求めていた。

現時点で同政策の公開に至っていない国防総省（Departments of Defense）、国土安全保障省（Department of Homeland Security）、労働省（Department of Labor）の3省についても、4月末には政策が公表される見込みである。

White House Office of Science and Technology Policy, Scientific Integrity Policies Released

<http://www.whitehouse.gov/blog/2012/04/06/scientific-integrity-policies-released>